



平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 N F K ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城 寶 豊
(J A S D A Q ・ コード 6494)

問合せ先
役職・氏名 取締役 田中 耕
電話 045-575-8000

連結子会社である株式会社ユニバーサルハウジングの株式の譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 3 月 27 日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ユニバーサルハウジングの株式の譲渡を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 株式の譲渡の理由

当社グループは、ホールディングカンパニー制として成長性のある企業を積極的に子会社することで、グループとしての成長を目指す方針のもと、株式会社ユニバーサルハウジングにつきまして、平成 17 年 12 月 26 日に子会社化し、グループの不動産事業の中核として業績に反映させてきました。

株式会社ユニバーサルハウジングは設立以来、戸建用地の分譲事業を行ってまいりましたが、当社の子会社になって以降、市況の変化もあり、事業用物件の開発・販売事業にシフトしておりました。その結果、平成 19 年 3 月期には売上高 81 億円、経常利益 81 百万円と計上するに至りましたが、昨年夏以降のサブプライム・ショックに端を発した不動産市況の急速な悪化に伴い、在庫不動産に多額の含み損が生じ、平成 20 年 3 月期において債務超過となる見込みであります。(詳細は、別途本日開示いたします、「特別損失の発生及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい)

当社では、平成 19 年 8 月にグループの経営方針として、ファーンエス事業を中核として戦略的に事業を絞り込み、財務的見地から今後の資金配分を中核事業に優先し、今後の資金投資先については、同方針に一致しない関係子会社については、原則譲渡・清算等とする方針で関係会社群の再編を行っております。その過程で、株式会社ユニバーサルハウジングにつきましては前述した財務的状況を鑑み、子会社として運営するには物件仕入等に係る財務的負担も大きい中で今般、条件について下記譲渡先との間で合意に至ったことから、譲渡を決議致しました。

2. 異動する子会社(株式会社ユニバーサルハウジング)の概要

(1)商 号	株式会社ユニバーサルハウジング
(2)代 表 者	植木 崇介
(3)本 店 所 在 地	大阪市北区梅田一丁目 1 番 3 - 2100 号
(4)設 立 年 月 日	平成 7 年 8 月 28 日

- (5)主な事業内容 不動産業
(6)事業年度の末日 3月31日
(7)従業員数 9名
(8)主な事業所 東京支店(東京都港区赤坂3-2-8アセント赤坂5階)
(9)資本金の額 230百万円
(10)発行済株式総数 9,000株
(11)大株主構成および所有割合 (株)NFKホールディングス(55.5%)
(12)最近事業年度における業績の動向

	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年3月期 中間期
売上高	9,398百万円	8,139百万円	712百万円
売上総利益	946百万円	917百万円	15百万円
営業利益	326百万円	313百万円	163百万円
経常利益	53百万円	81百万円	346百万円
当期利益	11百万円	17百万円	443百万円
総資産	4,997百万円	2,638百万円	7,092百万円
純資産	509百万円	526百万円	83百万円
資本金の額	230百万円	230百万円	230百万円
1株当たり配当金	0円0銭	0円0銭	0円0銭

3. 株式の譲渡先

- (1)氏名 瀧川 一男
(2)住所 大阪府堺市堺区田出井町1-3-3605
(3)当社との関係 該当なし

【譲渡先選定の理由】

前記1.譲渡の理由記載のとおり株式会社ユニバーサルハウジングは、今期の大幅な赤字発生により債務超過となっておりますが、当社から株式譲渡後について、手持ち物件の処分も発生することから、大阪圏での不動産事業の経験を有する候補者を数社(個人を含む)選定し、株式会社ユニバーサルハウジング株式の譲渡の交渉をしまいいりました。しかしながら、ほとんどの会社から財務的懸念を含め、譲り受けていただける候補者は出ず、交渉が難航しましたところ、当社の取引先の紹介による瀧川氏は大阪圏を中心に不動産業の豊富な経験を有しており、こうした株式会社ユニバーサルハウジングの財務的事情も理解の上、引き受け・再建を受諾いただいたため。

4. 譲渡株式数、譲渡価額および譲渡前後の所有株式の状況

- (1)異動前の所有株式数 5,000株(所有割合 55.5%) (議決権の数 5,000個)
(2)譲渡株式数 5,000株(譲渡価額 1円) (議決権の数 5,000個)
(3)異動後の所有株式数 0株(所有割合 0%) (議決権の数 0個)

【株式取得時からの経緯】

平成17年12月26日株式取得時3,000株、平成17年12月29日1,000株、平成18年1月31日1,000株追加し、合計5,000株となっております

【譲渡価額算出根拠】

今期は不動産市況の悪化により在庫不動産の多額な含み損が発生しており、平成20年2月までの損益状況は当期純利益 814 百万円の大幅な赤字となっています。実態ベースでの純資産は1,811 百万円の見込みとなっているため、株式評価はゼロとしております（以上、資産査定を依頼した「企業財務コンサルタンツ株式会社」による株式算定評価によります）

5. 日程（予定）

平成 20 年 3 月 27 日	取締役会決議
平成 20 年 3 月 28 日	株式売買契約書調印
平成 20 年 3 月 31 日	株式譲渡日

6. 今後の見通し

ユニバーサルハウジング株式譲渡に伴い、株式売却損 250 百万円を特別損失として計上します。（詳細は、本日別途開示いたします、「特別損失の発生及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい）

来期については、株式会社ユニバーサルハウジング（今期連結に占める売上見通し約 25 億：約 35%）が連結対象外となるため、相当額が減少しますが、上記1にも記載したとおり、赤字会社に対する資金補填がなくなるため、今後ファーンエス事業を中核とした事業に対し優先して資金を投入し安定した企業成長が可能となります。

また、株式会社ユニバーサルハウジングが連結から外れることにより、総資産は 6,000 百万円程度減少する見込みですが、有利子負債も 4,400 百万円程度減少する見込みです。株式会社ユニバーサルハウジングの純資産は債務超過なので、株式を 1 円で譲渡しても連結純資産には影響を及ぼしません。

以 上